

佛教大学オープンラーニングセンター (O.L.C.)

この講座は、自然への深い感謝の念や繊細なおもてなしの精神など、日本人が大切に、受け継いできた日本のこころの次世代への継承に取り組んでいる北区「WA (わ)のこころ」創生ネットワーク会議と、佛教大学オープンラーニングセンター(O.L.C.)とのコラボレーションによる**連続講座**です。

北区在住であり、O.L.C.の講座を担当いただいている **能楽師・河村晴久氏**（北区「WAのこころ」創生ネットワーク座長）をコーディネーターに、北区ゆかりの文化人の方々をゲストにお迎えし、日本人が古来大切にしてきた美意識や価値観に迫ります。

**無料講座**

令和6年度  
北区「WAのこころ」  
創生講座

**全6回 | 火曜日 15:30 ~ 16:45**

※令和5年度と時間帯が異なりますので、ご注意ください。



コーディネーター  
能楽師 観世流シテ方  
河村 晴久氏

昭和31年生まれ。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。同志社大学客員教授。幼少より父・河村晴夫の教えを受け3歳にて初舞台。13世林喜右衛門師に師事。京都河村能舞台を中心に活動。

**第1回 4月9日** 「**茂山家の狂言**」  
大蔵流狂言師 **茂山 七五三氏**

まず日本で生まれた最も古い会話劇である狂言の魅力を茂山千五郎家では、どのように伝えられてきたかをお話ししたいと思います。ちょっと風刺のきいた表現と滑稽な演技で狂言師が演じる喜怒哀楽は、観客の心に伝わり笑いが生まれます。その伝え方がお豆腐主義に通じているのではないかと思うところです。

**第2回 6月4日** 「**五山送り火の歴史とその継承**」  
京都五山送り火連合会 会長 **川内 哲淳氏**  
船形萬燈籠保存会 会長

京都五山送り火（特に船形萬燈籠保存会）がどのようなかたちで保存継承されてきたのかの歴史について、また、送り火の現在抱える問題点、それに対する今後の考えられる対応策についてお話しします。

**第3回 8月6日** 「**やすらい花の保存継承**」  
今宮やすらい会 会長 **土橋 耕治氏**

北区の紫野（今宮）、雲林院（玄武）、上賀茂、西賀茂（川上）の四地区に伝承される「やすらい花」について、特に北区の紫野（今宮）の歴史、特徴、そして当面の課題である少子化による担い手育成についてお話しします。

「和」  
「輪」  
「話」

あなたのこころの中の「WA」を見つめ直してみませんか

会 場：佛教大学 紫野キャンパス15号館1階ホール「妙響庵」

講座形態：対面・オンライン同時開催（見逃し配信付）

受講料：無料

申込開始：3月22日（金）10：00～

※第4回以降は、9月25日（水）から申込受付開始予定

申込方法：佛教大学オープンラーニングセンター(O.L.C.)HPから

HPはこちら/



佛教大学O.L.C.では、年間約600の多様な講座を開講しております。

2021年10月からの延べ受講者数が15万人を突破いたしました。

北区の皆さまのご受講を心よりお待ちしております。

ぜひ、お気軽にHPをご覧ください、興味ある講座を見つけてみてください。

佛教大学オープンラーニングセンター (O.L.C.) 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
